

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北原区くるみによる元気な地域づくり事業
事業主体 (連絡先)	北原区ふるさと暮らし支援委員会 (事務局 出澤俊明)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりの資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	756,720 円円 (うち支援金 : 592,000 円)

事業内容

1. コミュニティビジネスに必要な用具・備品の購入
収穫に必要なコンテナ、脚立等、洗浄に必要な洗浄機、乾燥に必要な乾燥トレーなどを購入し、また乾燥に必要な棚の設置工事を行った。
2. オーナーの収穫システムの構築
オーナーがくるみを収穫するシステム(ルール)を作成し、チラシとホームページにより周知を行った。また収穫するオーナーの表示用のベストを購入した。
3. 収穫祭の開催(11月3日)
オーナー8名、付添5名の計13名が参加
開会式～収穫～記念撮影～交流会(区民約15名参加)



【くるみ収穫祭のオーナー】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①くるみのオーナーがくるみの収穫をする際のルールの作成と収穫祭を通じた収穫体験により、くるみの収穫環境が整備され、今後のオーナーと地域との交流と交流を通じての移住定住の促進が可能となった。
- ②くるみの収穫、洗浄、乾燥、選別に伴う消耗品・備品の購入、施設の整備を行うことにより、収穫から出荷までの環境を整えることができ、北原区のコミュニティビジネスの基礎づくりを行うことができた。

【目標・ねらい】

- ①くるみのオーナーの収穫環境の整備による、都市との交流と移住定住の促進
- ②備品や消耗品の整備によりくるみの収穫から出荷までの環境を整えることで、北原区のコミュニティビジネスの基礎づくりを行う

※自己評価【 B 】

【理由】

計画どおりの事業を行うことができたことにより、今後のくるみの活用による地域活性化に期待がもてることになったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

くるみのオーナーが今後くるみの木の世話や収穫を行うため北原区を訪れる回数を増やすことにより、交流からさらに移住定住の促進を図りたい。また、くるみを道の駅等に出荷することにより、コミュニティビジネスを行い、その収益を活用して区民の負担の軽減や地域の活性化に役立てていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある